

(禁無断転載)

解答は、すべて解答用紙に記入して必ず提出してください。

平成 30 年度
「検定『お伊勢さん』」
問題用紙

上級【歴史・ものづくり編】

(午後 3 時開始 制限時間 90 分)

【注意事項】

1. 解答用紙への記入は、硬度 HB または B の黒鉛筆を使用してください。
2. 解答を訂正する場合は、あとの残らないように消しゴムできれいに消してください。
3. 解答欄には、各問題につき 1 つのみマークしてください。
4. 問題は全 100 問、配点は 1 問につき 1 点です。

(平成 30 年 12 月 9 日 施行)

伊勢商工会議所

1. 次の文章の()に入る適語を、各語群より選び、記号で答えなさい。

(1) 銅鐸片が採集された遺跡は()遺跡である。

(イ) 隠岡 (ロ) ママ田 (ハ) 宮後 (ニ) 桶子

(2) 尾上町は江戸時代()町といわれていた。

(イ) 地藏 (ロ) 妙見 (ハ) 観音 (ニ) 法楽

(3) 奈良時代の離宮院は()付近に想定されている。

(イ) 宇治山田駅 (ロ) 市役所 (ハ) 外宮 (ニ) 月夜見宮

(4) 大湊で造られた鉄甲板張りの船は()丸と呼ばれた。

(イ) 神路 (ロ) 日本 (ハ) 伊勢 (ニ) 五十鈴

(5) 江戸時代、鎮座地が不明となっていた撰末社を再興したのは()である。

(イ) 藺田守訓 (ロ) 足代弘訓 (ハ) 大中臣精長 (ニ) 荒木田久老

(6) 小田橋の擬宝珠には()の名が刻まれた。

(イ) 春日局 (ロ) 桂昌院 (ハ) お夏 (ニ) 徳川秀忠

(7) 東大寺大仏を再興するおり、神宮に祈願した僧は()である。

(イ) 月僊 (ロ) 西行 (ハ) 日蓮 (ニ) 重源

(8) 南北朝時代に、後醍醐天皇を助けた神宮神主は()である。

(イ) 荒木田久守 (ロ) 度会家行 (ハ) 度会延佳 (ニ) 荒木田尚賢

(9) 山田赤十字病院は創設されたときは()町にあった。

(イ) 岩渕 (ロ) 古市 (ハ) 楠部 (ニ) 御藺

(10) 旧石器から弥生時代にかけて奈良県からもたらされた石器の材料は()である。

(イ) 讃岐石 (ロ) 黒曜石 (ハ) 下呂石 (ニ) チャート

2. 次の語群のうち、関連性のないものを選び、記号で答えなさい。

(11) (イ) 藤波遺跡 (ロ) 岩偶 (ハ) 伊勢新名所絵歌合 (ニ) 度会氏

(12) (イ) 勝田 (ロ) 馬瀬 (ハ) 一色 (ニ) 通

(13) (イ) 宇治神社 (ロ) 須原大社 (ハ) 茜社 (ニ) 高向大社

(14) (イ) 月僊 (ロ) 伊藤小坡 (ハ) 磯部百鱗 (ニ) 荒木田麗

(15) (イ) 宇治 (ロ) 岩渕 (ハ) 継橋 (ニ) 二見

(16) (イ) 渥美郡 (ロ) 朝熊山 (ハ) 小町塚 (ニ) 南山

(17) (イ) 筋向橋 (ロ) 離宮院 (ハ) 神嘗祭 (ニ) 大淀港

(18) (イ) 山田三方 (ロ) 羽書 (ハ) 口寄 (ニ) 山田奉行

(19) (イ) 北川矩一 (ロ) 尾崎一雄 (ハ) 尾崎行雄 (ニ) 浜田国松

(20) (イ) 西行 (ロ) 生方たつゑ (ハ) 山口誓子 (ニ) 橋本平八

(21) (イ) 清川 (ロ) 五十鈴川 (ハ) 檜尻川 (ニ) 馬瀬川

3. 次の項目に最も関わるところを各語群より選び、記号で答えなさい。

(22) 円空仏

- (イ) 勢田町 (ロ) 今在家町 (ハ) 館町 (ニ) 浦田町

(23) お夏寺

- (イ) 大湊町 (ロ) 神社港 (ハ) 馬瀬町 (ニ) 船江町

(24) 伊藤小坡

- (イ) 岩渕町 (ロ) 岡本町 (ハ) 古市町 (ニ) 浦田町

4. 次の各文章には、それぞれ1つずつ間違いの文章があります。それを選んで、記号で答えなさい。

(25) (イ) 勢田川はかつて御贄川といわれ鮎が獲れ、両宮へ献じられた。

(ロ) 明治天皇は6回神宮参拝をされた。

(ハ) 二見興玉神社は江戸時代にはなかった。

(ニ) 古市の遊女は、茶汲み女といわれた。

(26) (イ) 山田には江戸時代 371 ヶ寺あったときがある。

(ロ) 五二会ホテルの五は、織物・陶器・漆器・銅器・製紙を指している。

(ハ) 宇治山田市は昭和 36 年に伊勢市となった。

(ニ) 戦前の神宮皇學館大学には法隆寺の夢殿を模した講堂があった。

(27) (イ) 二軒茶屋は、うどんの「湊や」と酒屋の「角屋」のあったことによる。

(ロ) 伊勢海老は、江戸時代鎌倉海老ともいわれた。

(ハ) 持統天皇は伊勢志摩に行幸されたが、神宮に参拝された記録はない。

(ニ) 澤村栄治の生家は現存しないが、伊勢市観光文化会館の裏にあった。

(28) (イ) 源義経は伊勢神宮に参拝している。

(ロ) 北畠親房が伊勢に下向したおり、城を築いたところは村松である。

(ハ) 参宮者は、江戸時代中河原町で出身地別に休憩させ、御師の手代が出迎えた。

(ニ) 平成 22 年は、文政 13 年のお蔭参りを起点とする「お蔭年」である。

- (29) (イ) 幕末最後の山田奉行は神戸藩の藩主である。
(ロ) 足代弘訓の墓は伊勢市駅の裏にある。
(ハ) 筋向橋の下を流れる川は豊川である。
(ニ) 河崎の庚申堂は宇治・山田地区を含めて最も古いものである。

- (30) (イ) 杉木普斎は千利休の弟子である。
(ロ) 二軒茶屋で、明治天皇が船から上陸されたことがある。
(ハ) 鎌倉時代、船江まで敵兵が攻めてきたことがある。
(ニ) 船江の朧が池は、もと宮川の支流であった。

- (31) (イ) 古市の遊郭は天明年間に 30 軒ほどあった。
(ロ) 御師邸は宇治橋を渡った中にもあった。
(ハ) 御木本幸吉が御幸道路に植えた木は、桜・杉・楓である。
(ニ) 太田小三郎の顕彰碑は倉田山にある。

5. 次の語群のつながりで、誤っているものを選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---|---|
| (32) (イ) 野口みずき - 宇治神社
(ハ) 杉木普斎 - 明倫小学校 | (ロ) 北川矩一 - 宇治山田市長
(ニ) 荒木田久老 - 賀茂真淵 |
| (33) (イ) ママ田遺跡 - 近鉄小俣駅付近
(ハ) 昼河古墳群 - 世界祝祭博 | (ロ) カリコ遺跡 - 大仏山
(ニ) 南山古墳 - 朝熊山スカイライン |
| (34) (イ) 離宮院 - JR宮川駅
(ハ) 度会府庁跡 - 近鉄宇治山田駅 | (ロ) 桶子遺跡 - 近鉄五十鈴川駅
(ニ) へんば餅 - 近鉄小俣駅 |
| (35) (イ) 山田奉行 - 寺社奉行
(ハ) 三方会合所跡 - 須原大社 | (ロ) 宇治会合所跡 - おかげ横丁
(ニ) 小俣 - 和歌山・鳥羽藩領 |
| (36) (イ) 尾崎一雄 - 芥川賞
(ハ) 橋本平八 - 倭姫命 | (ロ) 尾崎行雄 - 浜田国松
(ニ) 北園克衛 - 橋本健吉 |

6. 次の植物と関係の深い人物名を選んで、記号で答えなさい。

(37) 臥龍梅

(イ) 伊勢三郎義盛 (ロ) 菅原道真 (ハ) 平清盛 (ニ) 大岡忠相

(38) お屋根桜

(イ) 出口延佳 (ロ) 尾崎弔堂 (ハ) 松井孫右衛門 (ニ) 足代弘訓

(39) 外宮表参道の楠

(イ) 藺田将監 (ロ) 平清盛 (ハ) 源頼朝 (ニ) 平知盛

(40) 松下社の楠

(イ) 体阿弥直次郎 (ロ) おさぶ女郎 (ハ) 伊勢正直 (ニ) 蘇民将来

7. 次の文章の空欄にあてはまる語を各語群より選びなさい。

古市街道を歩いて宇治に近づくと急な(41)と呼ばれる坂があり、降りきったところに(42)と呼ばれる宇治の町に入る門があった。左折するとすぐ見える神社は、(43)の神といわれる猿田彦神社である。浦田町の交差点付近にあった御師(44)大夫邸の門が、現在祭主職舎の門となっている。浦田町のバス停のあるところが、(45)神主邸で、ここに植えられている松が、(46)と呼ばれているものである。(41)を改修したことで功績の高い(47)が、神宮神主としてはじめて高い位をもらったことに由来する松である。内宮への旧参宮街道を進むと宇治で比較的好く残っている御師の家がある。山本数馬大夫邸で、現在はもと御師の浦田家となっている。右手の高台に見える墓地には、宇治橋や内宮の式年遷宮を復興した(48)などの五輪塔がある。墓地の御幸道路を挟んだ西側には、中世に神宮の祭祀や神事をまとめた(49)や俳諧の祖といわれる(50)の墓がある。小さな川(51)を越えると右手に現在祭主職舎として利用される江戸時代初期の建築で国の重要文化財となっているもと尼寺の(52)がある。客殿には、(53)筆の廿四孝の極彩色の絵があったといわれる。裏庭は、庭園造りで著名な(54)の作といわれる。また、土堀には、勅願寺であることを示す(55)本の白線が入っている。赤福本店の横にかかる(56)と呼ばれる橋は、内宮宮域内の現神楽殿付近に居住していた人々の家を、大火をきっかけに移転させてできた館町にいたるために架けられたものである。そこより少し内宮側へいくと右手にはいる道沿いに、鎌倉時代、元の襲来を防ぐため、天照大御神に大般若経を転読奉納した(57)のあったことを示す石碑が建っている。(57)の裏側(西側)には、宇治の自治組織であった(58)の建物があったところで、現在駐車場脇にそのことを示す石碑が建っている。かつて、宇治には(59)ヶ寺があったが、明治以降、寺は存在しない。宇治橋前駐車場の西側高台には、江戸時代に宇治の人々が建てた学校兼図書館である(60)が昔のまま存在する。

- | | | | |
|----------------|-----------|-----------|-----------|
| (41) (イ) 牛鬼坂 | (ロ) 馬追坂 | (ハ) 牛山坂 | (ニ) 牛谷坂 |
| (42) (イ) 赤門 | (ロ) 白門 | (ハ) 黄門 | (ニ) 黒門 |
| (43) (イ) 縁結び | (ロ) 道開き | (ハ) 地震 | (ニ) 福寿 |
| (44) (イ) 車館 | (ロ) 山本 | (ハ) 次郎館 | (ニ) 太郎館 |
| (45) (イ) 出口 | (ロ) 佐八 | (ハ) 藤波 | (ニ) 度会 |
| (46) (イ) 三位の松 | (ロ) 根起松 | (ハ) 一位の松 | (ニ) 二位の松 |
| (47) (イ) 荒木田氏家 | (ロ) 荒木田氏富 | (ハ) 荒木田氏経 | (ニ) 荒木田氏良 |
| (48) (イ) 周養 | (ロ) 聖純 | (ハ) 清順 | (ニ) 清鳳 |
| (49) (イ) 荒木田氏経 | (ロ) 荒木田氏常 | (ハ) 荒木田氏康 | (ニ) 荒木田氏益 |
| (50) (イ) 藺田守剛 | (ロ) 藺田盛武 | (ハ) 藺田守武 | (ニ) 藺田守利 |
| (51) (イ) 姫小川 | (ロ) 清子川 | (ハ) 聖川 | (ニ) 汁谷川 |
| (52) (イ) 慶晃院 | (ロ) 恵光院 | (ハ) 慶光院 | (ニ) 啓光院 |
| (53) (イ) 磯部百鱗 | (ロ) 狩野探幽 | (ハ) 狩野永徳 | (ニ) 月僊 |
| (54) (イ) 小堀円周 | (ロ) 木堀遠州 | (ハ) 古堀円州 | (ニ) 小堀遠州 |
| (55) (イ) 五 | (ロ) 四 | (ハ) 三 | (ニ) 二 |
| (56) (イ) 古橋 | (ロ) 館橋 | (ハ) 鈴橋 | (ニ) 新橋 |
| (57) (イ) 神楽社 | (ロ) 法楽社 | (ハ) 法楽舎 | (ニ) 経楽舎 |
| (58) (イ) 三方会合所 | (ロ) 宇治集会所 | (ハ) 内宮会合所 | (ニ) 宇治会合所 |
| (59) (イ) 20 | (ロ) 30 | (ハ) 43 | (ニ) 52 |
| (60) (イ) 豊宮崎文庫 | (ロ) 宇治文庫 | (ハ) 林崎文庫 | (ニ) 神宮文庫 |

8. 天然記念物に関する次の設問に、記号で答えなさい。

(61) 伊勢市指定の天然記念物はどれですか。

(イ) 離宮院の寒緋桜

(ロ) 旧豊宮崎文庫のオヤネサクラ

(ハ) 横輪町の横輪桜

(ニ) 伊勢高校の御衣黄桜

(62) 三重県指定の天然記念物はどれですか。

(イ) 宮川堤の境楠

(ロ) 旭町のアイナシ

(ハ) 矢持町のオガタマノキ

(ニ) 松下社の大楠

(63) 伊勢市指定の天然記念物に指定されていないのはどれですか。

(イ) 蓮台寺の柿

(ロ) 厚生小学校のケヤキ

(ハ) 内宮宮域林の宿り木の桜

(ニ) 御菌町の臥龍梅

9. 「お伊勢さんほど大社はないがなぜに宮川橋がない」といわれたように、宮川には、明治になるまで橋がなく、数個の渡しがありました。宮川にかつてあった渡しに関する次の設問に、記号で答えなさい。

(64) 右岸に桜の木がたくさんあったことから「桜の渡し」と呼ばれたのはどれですか。

(イ) 上の渡し

(ロ) 下の渡し

(ハ) 磯の渡し

(ニ) 上條の渡し

(65) 現在、ほぼ豊浜大橋のある地点にあって、左岸の農水産物を行商する人々によく利用されたのはどれですか。

(イ) 磯の渡し

(ロ) 上條の渡し

(ハ) 田丸口の渡し

(ニ) 上の渡し

10. 古来、宮川は氾濫を繰り返し、現在山田の市街地になっている部分はその氾濫原でした。これらに関して、次の設問に、記号で答えなさい。

(66) 次の橋のうち、宮川の旧流路に架けられているのはどれですか。

(イ) 小田橋(岡本)

(ロ) 筋向橋(常磐)

(ハ) 中橋(河崎)

(ニ) 桜橋(岩渕)

(67) 宮川の氾濫を鎮めるために、人柱となったと伝えられる人は誰ですか。

(イ) 松原清兵衛

(ロ) 宮嶋丑松

(ハ) 松井孫右衛門

(ニ) 藺田将監

11. 次の文章は、近年の伊勢のまちづくりの経緯を述べたものです。()内にそれぞれ回答群の中から適切な用語を選んで、記号で答えなさい。

伊勢のまちづくりや大きなイベントを振り返ると、20年に一度のご遷宮と重ねて進められたものが多い。第58回式年遷宮(昭和4年)の行われた翌年には、参宮急行電鉄(近鉄)が開通し、(68)が行われた。第二次世界大戦で大きな被害を受けた伊勢では、第59回式年遷宮も昭和28年まで延期された。この地の復興のきっかけを提供したのは昭和21年の(69)であった。その後、経済が高度に成長する中で、第60回式年遷宮(昭和48年)を迎えた。このころ、全国の地方都市では駅前再開発が進み、伊勢でも昭和48年、伊勢市駅前に売り場面積1万平方メートルを超える(70)が出店するなど駅前への商業集積が進んだ。昭和50年には、国道23号が新しく開通、モータリゼーションを加速させていった。ロードサイドへの商業施設の出店が進み、商店街の地盤沈下が、目をおおうまでになっていった平成5年、第61回式年遷宮に合わせ、宇治に(71)が開発され、今日では他都市の商業開発モデルとまでなっている。

- (68) (イ) お伊勢博覧会 (ロ) 神都博覧会 (ハ) 参宮博覧会 (ニ) 祝祭
- (69) (イ) 平和博覧会 (ロ) 戦災復興計画の着手
(ハ) 伊勢志摩国立公園の指定 (ニ) 真珠貿易の促進
- (70) (イ) 三交SC (ロ) ジョイシティ (ハ) 伊勢萬 (ニ) ジャスコ
- (71) (イ) おかげ横丁 (ロ) 外宮参道 (ハ) せんぐう館 (ニ) 安土桃山文化村

12. 次にあげる世古は、それぞれ下記のどの由来によるといわれていますか。考えられる由来を回答群の記号で答えなさい。()は世古の存在する・した場所を示します。

回答群 (イ) 地形 (ロ) 位置 (ハ) 会社名 (ニ) 神社

- (72) 吃驚世古 (岩渕)
- (73) 烏帽子世古 (宮町)
- (74) 堤世古 (浦口)
- (75) 中世古 (本町)

13. 下記の名所、史跡、施設は、次の宇治の地図のどこに示されていますか。それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

(76) 神宮司庁

(イ) C

(ロ) F

(ハ) G

(ニ) L

(77) 旧林崎文庫

(イ) Q

(ロ) C

(ハ) D

(ニ) R

(78) 逢坂峠

(イ) M

(ロ) N

(ハ) P

(ニ) S

(79) 宇治神社(足神さん)

(イ) A

(ロ) O

(ハ) Q

(ニ) R

(80) 御側橋

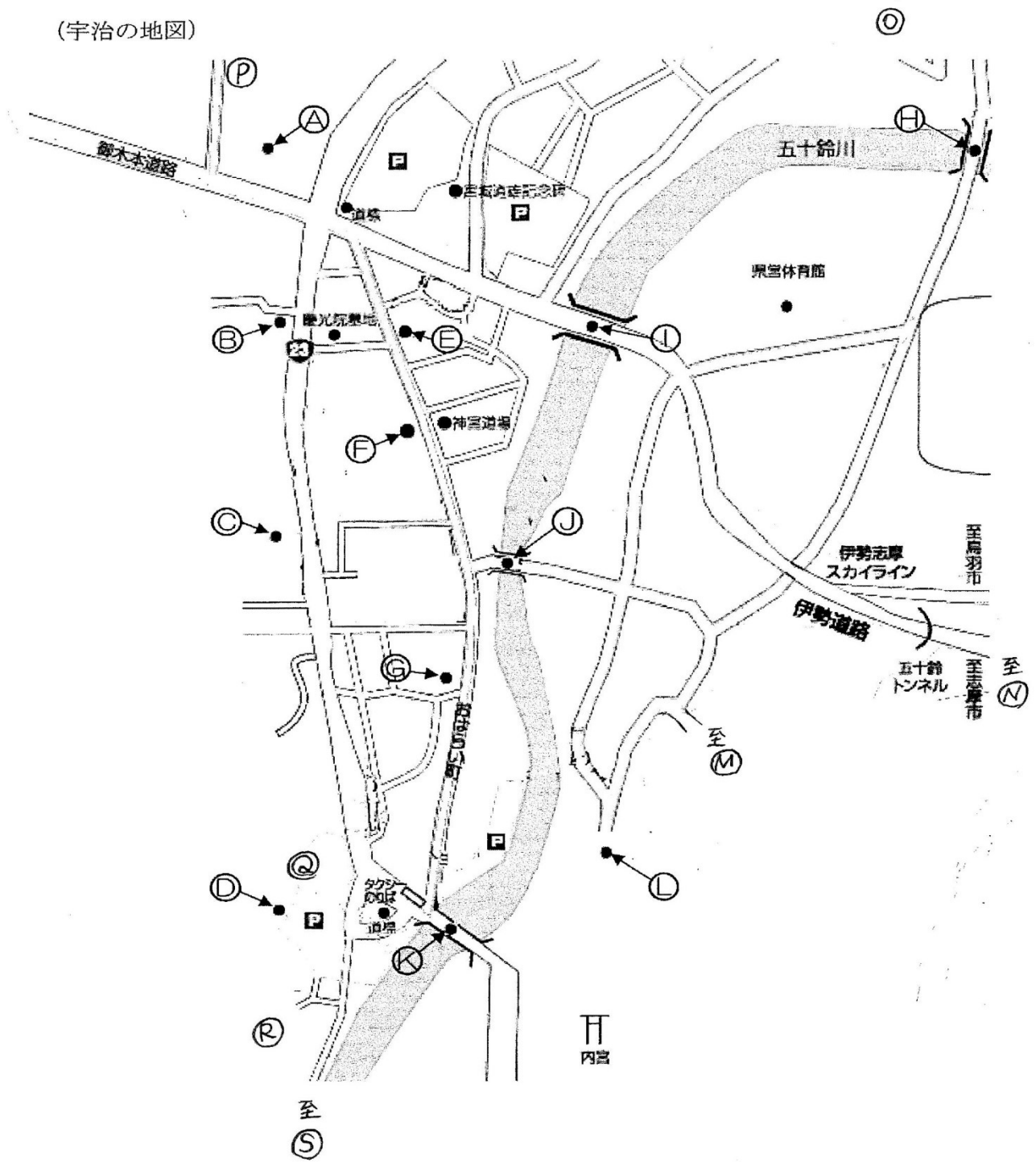
(イ) H

(ロ) I

(ハ) J

(ニ) K

(宇治の地図)



14. 次の用語は、この地域で人の動作や状態を表す言葉ですが、それぞれの意味を持ったことばですか。回答群の中から正しいと思われるものを選んで、記号で答えなさい。

回答群 (イ) ちらける (ロ) はっきりよくならない (ハ) 痛い (ニ) 片付ける

(81) にかにかする

(82) しまう

(83) ふっちにする

(84) ほっこりせん

15. 伊勢のまちづくりを振りかえると、ご遷宮の時期と重なって進められたことが多いことに驚かされます。次の事業はいつのご遷宮の時期と重なって進められましたか。回答群の記号で答えなさい。

回答群 (イ) 第 58 回ご遷宮:昭和 4 年 (ロ) 第 59 回ご遷宮:昭和 28 年
(ハ) 第 60 回ご遷宮:昭和 48 年 (ニ) 第 61 回ご遷宮:平成 5 年

(85) 県道鳥羽松阪線の整備(当時の参宮有料道路の開通)

(86) 全国高校総合体育大会

(87) 世界祝祭博覧会

(88) 第 1 回神宮奉納大相撲

(89) 全国高等学校総合体育大会

16. この地域の道路網に関するそれぞれの説明に 1 つずつ間違いがあります。
それを選んで、記号で答えなさい。

(90) 伊勢自動車道

- (イ) 通称伊勢自動車道は、正式には近畿自動車道関伊勢線という。
- (ロ) 高速自動車国道法による規制がある。
- (ハ) 昭和 50 年、関・久居間が開通、順次延長され、平成 5 年伊勢まで開通した。
- (ニ) 延長部分の伊勢二見鳥羽ラインは平成 6 年に開通した。これも高速自動車道路である。

(91) 旧国道 23 号

- (イ) 東京から伊勢に至る道路が大正 9 年に国道 1 号に指定された。
- (ロ) 国道 1 号四日市日永から内宮前までが、昭和 27 年に国道 23 号となった。
- (ハ) このころ、三重県国道改良促進期成同盟が結成され、その中で、旧伊勢電鉄の軌道敷(櫛田川・宮川間)を国道として整備することが決まった。
- (ニ) そして、昭和 28 年末、櫛田橋・度会橋間 10.6km が全国で 2 番目の有料道路として開通した。

(92) 御木本道路

- (イ) 江戸期の参宮に、外宮と内宮を結ぶ近道として利用された。
- (ロ) 昭和 14 年の街路の都市計画決定においては、人と自転車専用の公園道路として計画されている。
- (ハ) 昭和 21 年御木本幸吉が米寿の祝いとして 50 万円の資金を提供したので、これを基金として事業が進められた。
- (ニ) 延長 3.5km、中間点に伊勢自動車道乗降口が設置された。

(93) 伊勢道路

- (イ) 宇治館町と志摩市磯部町川辺とを結ぶ 15.2km の道路である。
- (ロ) 古くから志摩の物産を伊勢へ運ぶルートとして利用され、逢坂越えと呼ばれた。
- (ハ) 五十鈴トンネルと志摩路トンネルを掘削して、昭和 40 年に開通し、当初は有料であったが、平成 5 年ご遷宮の年に無料になった。
- (ニ) 島路川の溪谷にそうため、春秋は樹木が美しい観光道路である。

17. 宮川下流の農業に関する次の文の()内に入る適切な用語、数字を選んで、記号で答えなさい。

宮川下流の平野では、古くから農業が行われてきたが、右岸の(94)の自然堤防及び、左岸の(95)台地の水準が、宮川の水面より高いため、宮川の水を灌漑用水として直接利用することができず、畑作中心の農業を営んできた。明治末から太平洋戦争後まで、この地域の換金作物の中心となったのは(96)で、これを漬物にして関西へ売り捌いてきた。1970 年代に宮川用水が通水すると、イチゴ、メロン、花などの新しい農業が行われるようになった。イチゴは、昭和 40 年ころまでは、(97)に収穫され、市場に出回るにすぎなかったが、ハウス栽培の普及や品種改良により、収穫期が早まり 11 月頃から初夏まで味わえるようになった。

- | | | | |
|----------------|-----------|-----------|-------------|
| (94) (イ) 旧四郷村 | (ロ) 旧浜郷村 | (ハ) 旧御菌村 | (ニ) 旧豊浜村 |
| (95) (イ) 小俣 | (ロ) 明野ヶ原 | (ハ) 御菌 | (ニ) 田丸 |
| (96) (イ) 大根 | (ロ) カブラ | (ハ) アブラナ | (ニ) 白菜 |
| (97) (イ) 1～2 月 | (ロ) 3～4 月 | (ハ) 5～6 月 | (ニ) 11～12 月 |

18. 伝統工芸に関する次の設問について、それぞれ正しい回答を選んで記号で答えなさい。

(98) 伝統工芸品の製作道具としてロクロを使用しないものはどれですか。

- | | | | |
|--------|---------|--------|----------|
| (イ) こま | (ロ) ケン玉 | (ハ) 根付 | (ニ) ヨーヨー |
|--------|---------|--------|----------|

(99) 鈴木正直と呼ばれる匠が製作したのはどれですか。

- | | | | |
|----------|----------|--------|--------|
| (イ) 鳴り独楽 | (ロ) 一刀彫り | (ハ) 根付 | (ニ) 浅沓 |
|----------|----------|--------|--------|

(100) 「一閑張り」を行う工芸品はどれですか。

- | | | | |
|--------|----------|--------|--------|
| (イ) 浅沓 | (ロ) 伊勢春慶 | (ハ) 指物 | (ニ) 提灯 |
|--------|----------|--------|--------|